

6月の野菜の見通し

令和元年5月30日現在
山形県東京事務所

区分 品目	入荷量(t)			単価(円/kg)			山形県産前年実績		コメント
	前年実績	平年比 見込	5カ年 平均	前年実績	前年比 見込 (%)	5カ年 平均	前年 入荷量※ (t)	前年 占有率 (%)	
だいこん	7,110	少ない	7,961	101	100%	93	3	0	<p>【入荷見通し】 千葉産等関東産は前進傾向のため、切上りが早い見通し。青森、北海道産は低温が続いた影響で、出方が遅れる見込み。</p> <p>【単価見通し】 5月下旬から全体量減少により相場が高まり、6月上旬にかけて強めとなる予想。見通し単価100円は前年並みだが、平年よりはやや高い。</p>
キャベツ	15,837	並み	15,454	80	100%	80	-	-	<p>【入荷見通し】 関東産はやや前進傾向であるものの、生育は概ね順調。前年並みの出回りを見込む。</p> <p>【価格見通し】 見通し単価80円は前年、平年並み。</p>
ねぎ	3,950	並み	3,845	354	99%	396	-	-	<p>【入荷見通し】 茨城、千葉産ともに生育順調。全体量は前年並みか若干増を見込む。梅雨の影響を受けて減少する時期も出るか。</p> <p>【価格見通し】 見通し単価350円は前年並みだが、平年比ではやや安。</p>
きゅうり	7,120	並み	7,367	274	91%	258	158	2.1%	<p>【入荷見通し】 西南暖地産が減少、関東産中心ながら東北産が増量する時期。全体量は平年並みを予想するが、高温障害の発生や梅雨の影響で減りこむ懸念もある。</p> <p>【価格見通し】 見通し単価250円は前年よりやや安く、平年比では同水準。</p>
トマト	8,385	少ない	9,086	268	101%	279	144	1.7%	<p>【入荷見通し】 西南暖地産が切り上がり、関東以北産が中心となる。北海道産が出始めるがやや遅れ気味か。</p> <p>【価格見通し】 5月安値の反動や産地切換えの谷間で、中旬には相場上昇も予想される。見通し単価270円は前年並みで平年比で若干安。</p>

引用資料:「東京都中央卸売市場における野菜の品目別取扱実績」(青果物情報センター)、「野菜の生育状況及び価格見通し」(農林水産省)、「野菜の入荷・市況見通しについて」(東京青果株)

入荷量について:平年並とは、平年との比率が80%以上、120%未満であることを示す。「0」はラウンドして1tに満たない入荷があったもの。「-」は本県のデータがないもの(入荷がないか、又は少なかったためにその他の産地に含まれる)